

▲朝の担任からのメッセージ

梅雨とは思えない暑い毎日が続いていますが、子どもたちは毎日元気に学校生活を楽しんでいます。今週からは、体育着などによる登校も始まりました。天気や時間割などを考慮し、何を着ていくのかを自分で判断することも自治の精神を養うことにつながります。これからも身だしなみに配慮した服装で、爽やかに登校してもらいたいと思います。

「文武両道に励み秀でる学校」を目指して

登校再開から約1ヶ月が過ぎて、子どもたちの体力も少しずつ回復してきました。体育科では、一度に走る人数などに配慮しながら、今週から持久走に取り組んでいます。苦しいはずの持久走なのに、副校長室には子どもたちの楽しそうな歓声が聞こえてきました。不思議に感じて外に出てみると、得意な生徒は真剣に、苦手な生徒も伸び伸びと、それぞれの個性を発揮して汗を流していました。何事にも全力を尽くす子どもの姿は、頼もしく、いつ見ても美しいものです。



▲暑さの中を全力で走る3年生

今、学習で大切にしていること（英語編）

「第3期あきたの教育振興に関する基本計画」（2020年）では、2024年までに英検3級相当の英語力を有する中学3年生の割合を68%（H28=53.3%）にすることが、推進指標として示されています。

来年度から全面実施になる学習指導要領では、文法訳読に偏ることなく、互いの考えや気持ちを英語で伝え合う学習が重視されます。そこで、本校でも話したり書いたりする場面において、失敗をおそれず積極的に英語を使おうとする態度を育成することを重視し、互いの考えや気持ちを英語で伝え合う言語活動を中心とする授業を行っています。また、基本的には、授業を英語で行うことにも努めています。

本校には英語担当が3名おりますが、各自が持ち味を発揮し、工夫した授業を展開しています。1年生では、小学校の英語学習とのつながりを大切にしています。先日は、英語に慣れ親しむことを目的に、手作りの英語カルタを取り入れていました。2年生では、英語に対する興味・関心を大切にしています。毎時間、具体的で身近な話題を提示するために、ICTを活用した授業を行っています。3年生では、積極的に英語を使おうとする態度を大切にしています。シールなどを用いて積極的な姿勢に見える化することにより、自分の考えや思いを積極的に伝え合う生徒が増えてきています。



▲英語カルタを楽しむ1年生



▲ICTを活用した2年生の英語



▲リアクションを楽しむ3年生

子どもの安心・安全を守るために

1件の重大事故の背後には、29件の軽微な事故が隠れており、さらに、その背後には事故寸前だった300件の異常、ヒヤリハット（ヒヤリとしたり、ハッとしたりする危険な状態）が隠れているという法則があります。

本校では、大きな事故や問題行動を未然に防ぐために、ヒヤリハットなどの情報をできるだけ早く把握し、的確な対策を講じることが必要であると考えています。

<学校再開後の自転車に関するヒヤリハット>

- ・自転車通学の際にノーヘルの生徒やあごひもを締めず、スピードを出し過ぎている生徒がいるという保護者からの情報
- ・小路から左折しようとしていた車と接触し、ケガをした生徒
- ・信号無視をして、横断歩道で車と接触してしまった生徒
- ・ハンドル操作を誤って転倒し、軽いけがをした1年生の生徒

自転車に関わる事故に遭うと命を失う危険があります。今後も、各学級や学年集会等で具体的な事例を挙げながら交通安全指導を重ねていく予定です。しかし、残念ながら本校の自転車通学に関する義務や道路交通法を守れない場合は、当該生徒の命を守ることを最優先し、「自転車通学の停止、取り消しに関する規定」に従い、毅然とした指導を行いますのでご理解とご協力をよろしくお願いします。なお、1年生については、写真のように後輪の上に荷物を入れるためのカゴを付けることを推奨しております。

また、1年生では貴重品がなくなったり、2年生ではSNSに関するトラブルなどで嫌な思いをしたり、困ったりしている生徒もおります。「誰一人嫌な思いをしない学校」を目指し、保護者の皆様と連携して早期対応に努めるとともに、再発防止に向けて改善策を講じていきますので、今後ご協力をよろしくお願いします。



▲交通ルールを守って登校する生徒



▲後輪の上にカゴを付けた自転車

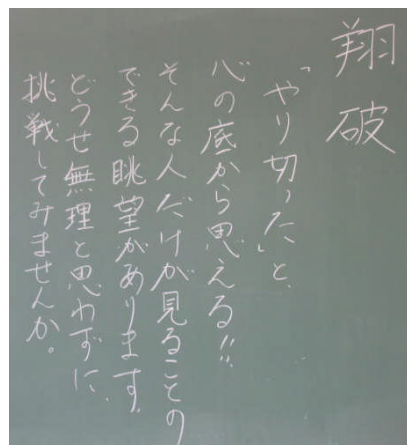


▲社会的距離に配慮した合唱の学習

「豊かな個性が躍動する学校」を目指して

今年度の合唱コンクールは、「附中芸術祭」として開催する予定です。9月3日（木）に市文化会館で行います。詳細については検討中ですが、「芸術祭」とする理由は、附中生の豊かな個性が躍動する機会を創ることです。普段あまり目にする事のない友達の新たな一面に触れることには、相互理解を深めるだけでなく、感性を刺激し合うことにもつながるのではないかと考えています。

ピアノ、チェロやバイオリン等の弦楽器、バレエや日本舞踊、ダンスなど、課外活動を通して様々な才能を磨いている附中生はたくさんいます。本校は「豊かな個性が躍動する学校」を目指しています。人前で発表するのはとても勇気のいることです。しかし、左のメッセージのように、自分は無理だと思わないで、是非この機会に自分が磨いている個性をみんなの前で披露することに挑戦してほしいと思います。「やり切った人」だけしか見ることができない眺望をステージ上から見てみませんか。



◀朝の担任からのメッセージ